

春日井の魅力を市内外に発信するため、4月28日に任命した春日井広報大使。このコーナーでは、大使自身の魅力を伝えていきます。

魅せます！ 春日井 広報大使

トップバッターは、タレントとして活躍中の宮本忠博さん。宮本さんは、市民の皆さんに身近な魅力を発信したいと市内を回り、埋もれていた市の魅力を紹介しています。



タレント
宮本忠博
Miyamoto Tadahiro

●プロフィール

東海地方で司会やリポーターなど幅広く活躍中。昨年、勝川でカエルをテーマとしたイベント「春日井カエルまつり」を立ち上げる。中部大学卒業。

弘法市がきっかけでカエルことに・・・

30歳のときテレビの仕事で勝川大弘法通商店街を訪れたのをきっかけに、毎月弘法市に通うようになり地元の人たちと親交を深めていきました。

春日井のことを知る中で、柳に跳びつくカエルの逸話を聞き、カエルに興味を持つようになり、カエルをメインとして何かまちおこしができないかと考え、平成23年に春日井カエルプロジェクトを立ち上げ、昨年4月、勝川でカエルまつりを始めました。



地元で当たり前、でも実は魅力がいっぱい

ある時、鳥居松の中学生に、勝川の大弘法について聞いたら、「知らない」と言われ、身近にある魅力に気付いていないのではと感じました。また、市制70周年を記念して作られた「春日井のむかし話」には、市内の逸話や遺跡を数多く紹介していましたが、その場所を訪ねても、地元の方は、当たり前にあるためか、魅力に慣れてしまっているようでした。

そこで、本業を生かし、市内の小学校区ごとに歴史や文化などの魅力を取材し、レポートしています。市民の皆さんに今一度春日井を知り、好きになってもらいたいと思っています。



春日井みつけ隊でも活躍中!

市公認フェイスブックページ「春日井みつけ隊」の一員として、内津や勝川などの地名の由来を現地レポート。地元小学校にも突撃取材を敢行して楽しい記事を投稿しています。

名刺をもらおうと特産品も当たる!



広報大使の皆さんは、それぞれ名刺を持っています。裏面は応募用紙になっていて、3か月ごとに抽選で5人に市の特産品が当たります。

